

わたしのまちの

文学散歩

まだなかなか遠出とはいかないけれど、そろそろ小旅行気分でお出かけしたい。
それならまちの文学館へ足を運んで「文学散歩」してみませんか？

小説や随筆の背景を知ることによって、その作品の味わいが増すだけでなく、
いつも暮らしている身近な空間と文学作品を結びつけ、重ね合わせる、そんな
ショートトリップを楽しみましょう。





くまもと 文学・歴史館

「文学と歴史でたどる熊本の記憶」をテーマに、夏目漱石、小泉八雲、中村汀女、石牟礼道子など、熊本県にゆかりのある文学者の資料が展示されています(※企画展開催時にはご覧いただけない場合があります)。映像ギャラリーやテーマに沿った漫画を楽しむことができる交流活動室からは、藩主細川家ゆかりの庭園を見ることができます。

住所 熊本県熊本市中央区出水2-5-1

見どころ！

- 企画展「松本唯一(ただいち)と松本文庫
～カルデラに魅せられ、書物を愛した学者～」
展示期間：令和4年8月5日(金)～9月26日(月)
- 企画展「朔太郎と熊本(仮)」
展示期間：令和4年10月14日(金)～12月5日(月)



北九州市立文学館

個性あふれる作家を輩出し続けている北九州では、近代文化の種を蒔いた森鷗外をはじめ、女性俳句を育んだ杉田久女、橋本多佳子、庶民の人生を綴った林芙美子、さらに詩人や映画監督などさまざまな分野で活躍するゆかりの作家の展示が堪能できます。



住所 福岡県北九州市小倉北区城内4-1

見どころ！

小倉文学散歩道「歩く文学」

北九州を訪れ、北九州に魅せられた文学者たちの足跡を、今も大切に残されている170基以上の文学碑や記念館、資料館を巡り、たどってみませんか。



かごしま近代文学館 メルヘン館

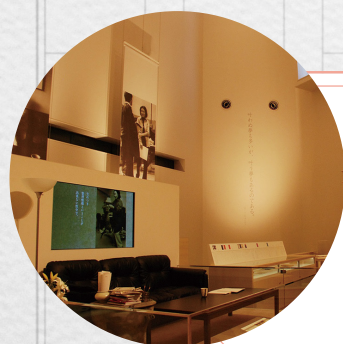
文学資料の展示だけではなく、鹿児島ゆかりの作家、海音寺潮五郎・椋鳩十・梅崎春生などの創作にかけた情熱や、創作の源となった体験が、書斎の再現、ジオラマ、映像等を駆使して紹介されています。併設の「かごしまメルヘン館」では童話や絵本がテーマとなっており、子どもから大人まで楽しむことができる施設です。

住所 鹿児島県鹿児島市城山町5-1



見どころ！ 展示コーナー「向田邦子の世界」

小学校時代の2年余りを鹿児島で過ごした向田邦子は、鹿児島を「故郷もどき」と呼んでいた。向田家から約8千点の遺品を寄贈いただき、作家としての顔のほか、ライフスタイルにも焦点をあてた展示を行っている。最後に住んでいた自宅リビングの再現や、本人の映像、音声などを楽しめるコーナーも。



福岡市文学館

福岡市総合図書館内にあり、福岡ゆかりの文学資料を収集・整理・保存しています。市民向けの文学講座や、常設展示、企画展示など幅広い活動を行い、文学を通じた福岡の文化の継承に取り組んでいます。2002年に開設され今年で20年目をむかえます。

住所 福岡県福岡市早良区百道浜3-7-1 福岡市総合図書館 1階ギャラリー



見どころ！

常設展示「映画化された小説」

展示期間：～令和5年3月31日(金)まで
ステイホームにより家にいながら映像作品を楽しむことがより身近になった昨今。小説と映画の表現方法の違いに触れてみませんか？

展示内容

・夢野久作「短篇集 少女地獄」より『殺人リレー』 ・檀一雄『花筐』 他
※期間中に展示替えがあります

